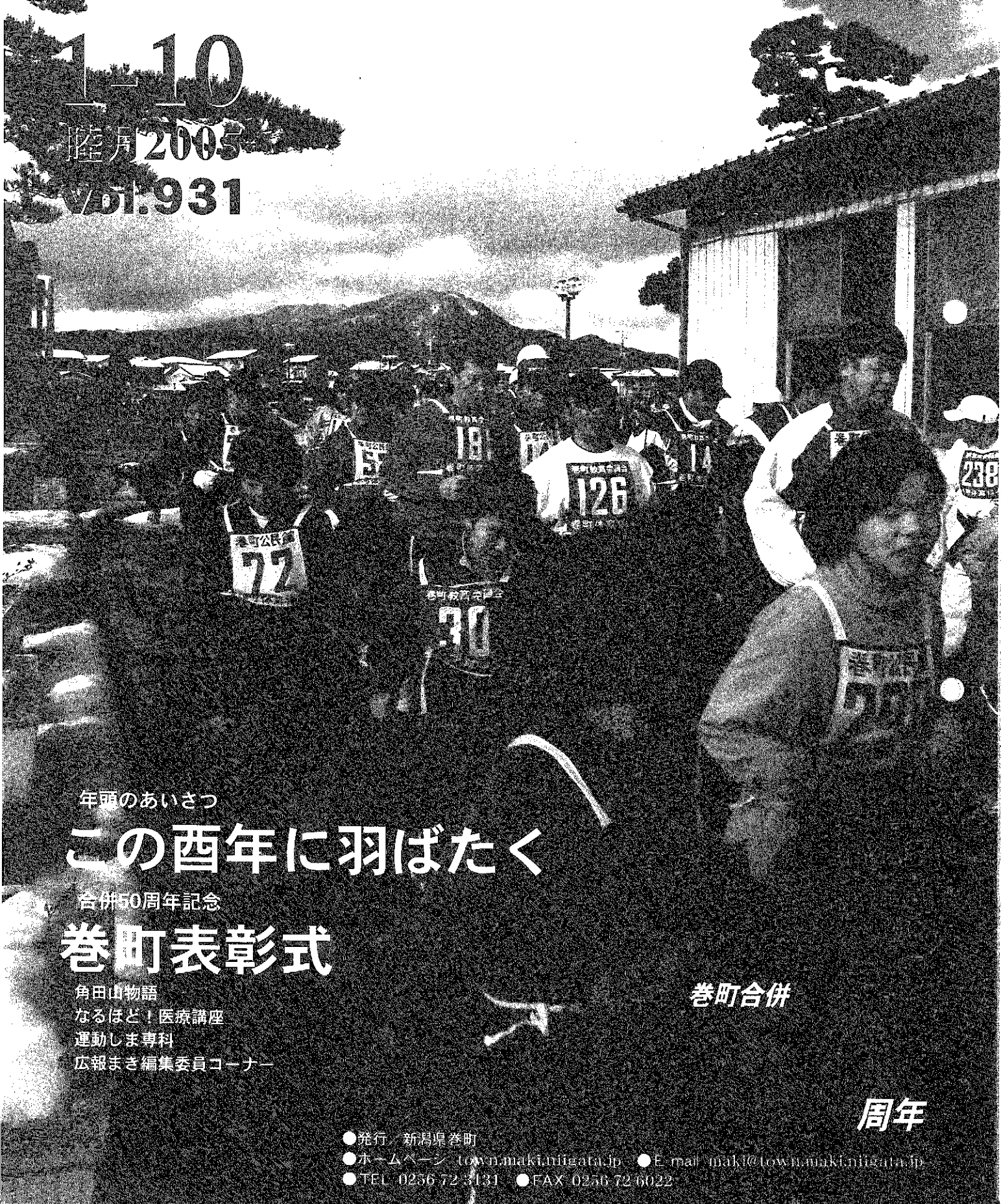


広報まき

1-10

睦月2005

Vol.931



年頭のあいさつ

この酉年に羽ばたく

合併50周年記念

巻町表彰式

角田山物語

なるほど！医療講座

運動しま専科

広報まき編集委員コーナー

巻町合併

周年

●発行/新潟県巻町

●ホームページ town.maki.niigata.jp ●E-mail maki@town.maki.niigata.jp

●TEL 0256-72-3131 ●FAX 0256-72-6022

この酉年を羽ばたく

新年明けましておめでとうございませう。災害の恐怖に怯えた平成16年が終わり、巻町としても意義大なる平成17年を迎えました。町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

今年の元旦は、昭和30年に1町5村が合併して現在の巻町と同じ形になってからちょうど50周年を迎える記念すべき日に当たりました。新潟市との合併を控える平成17年の初日として、また大変意義深い日でもあります。豊かな環境と歴史、文化を抱え、人情味溢れるわがふるさと巻町の将来を左右する1年の元旦、私は、町民の皆様や議会、町職員とともに巻町の舵取りに当たるこの1年を考えると、思わず身奮い（もちろん武者奮いですが）せずにはいられません。政令指定都市を目指す大都市「新潟」に呑み込まれることなく、巻町の地域性を守り抜いていかなければならないと固く決意しているからです。後世になってから、あのときの町長の舵取りは正しかった、巻町の判断は間違っていないかと、皆様方から感じていただけ

るよう、身を粉にしていっそう頑張るつもりです。間もなく始まる新潟市との法定合併協議会では、町立病院の問題の解決策や、建設計画、合併期日などが決定され、ゴールに向かって加速度が大きく予定です。町民の皆様方のご意見をお聴きし、議会と協力をしながら、任に当たりたいと考えています。

確かに、合併問題だけでなく、財政問題をはじめ巻町の抱える課題は多く、前途は決して明るいものではありません。ここに来てクロスアップされた、子どもを狙った不審者の対策、防災体制の整備など数え上げればキリがありません。しかし、手をこまねいて見ているときではありません。大きな視野とバランス感覚を持ちながら、公正・公平で見通しのよい、町民参加の町づくりを専心努力して参りたいと考えています。特に、巻町の最大かつ中心産業である農業の再生、漆山・並岡企業団地への企業誘致・産業集積、雇用確保は、私の公約の一つであり、重点的に取り組んで行きたいと考えております。

町立病院問題については、お話をしておかなければなりません。大先輩らが苦勞なさって立ち上げた「巻町国民健康保険病院」は、巻町と同様、今年で満50歳になります。地域の中核病院として、輝かしい実績と歴史を有しています。人口3万人の町がこの規模の病院を運営していることは、町の、また、私の誇りでもあります。しかしながら、合併を控えて経営状況の深刻さは甚だしく、「どうしても自治体立の病院として存続させたい」という希望は、有効な経営改善策が見込めないなかで、潰れてしまいました。医師をはじめとした職員の努力や苦勞で、経営悪化のスピードが緩くなつたとは言え、合併後の新潟市では、病院としての存続すら危ういのです。この待ったなしの崖っぷちでは、この地域に病院を残すことが最善の策だとの判断に至りました。苦渋の選択ですが、民営化を考えたざるを得ません。誠に残念至極です。

さて、17年度の重点施策について、いくつか触れさせていたいただきます。まず、竹野町野球場の団地造成事業があります。これは、約1.7haの土地を活用して造成、上水道・ガス工事を行い、住宅用地として売却するものであります。すでに今年度測量を実施しております。しばらく、野球関係者にはご迷惑をおかけしますが、売却代金を活かして城山運動公園に第2野球場を建設する計画でありますので、ご了承をお願いするものであります。次に、市街地（旧浄水場跡地）に、老人憩いの家を整備したいと考えています。以前から地区の要望が大きかったのですが、旧浄水場跡地の有効利用のためにも、最適地ではないかと考えております。また、町道312号線、東6区の16号バイパスに向かう通称中央道等ですが、これの道路改良を進めます。

皆様の信託を得て町長に就任させていただきました。間もなく1年になります。そして、17年度早期の合併を目指している私が町長をさせていただけるのも、もう1年はないと考えております。東の空に輝く初日の出のように爽やかに、そして日本海に沈む夕日のように鮮やかにこの酉年を羽ばたきたいと思っております。元旦には、「第31回巻町民ファイ

ナル元旦マラソン」がありました。巻町という冠をつけての最後の元旦マラソンでした。大勢の方が、凜とした空気の中を、未来に向かって疾走なさったことでしょう。私も、スタートのピストルを鳴らしながら、合併への本当のスタート地点に立った感を強くしました。

1月11日には、篠田新潟市長の講演会があります。2月2日（水）には「巻町合併50周年記念式典」を平成16年度巻町表彰式と併せて行います。さらに、3月12日（土）には、中越大震災で延期になった「東京えちご巻町会創立10周年記念 朗読コンサート」をご披露できることになりました。新春から、過去を振り返る事業や未来に向かうための事業が目白押しです。ぜひ、皆様からも多くのご参加をいただきますようお願いいたします。

終わりに、改めて町民の皆様方のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。心からお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



巻町長 田辺 新

決意を新たに

新年明けましておめでとうございませう。新春を迎え町民の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

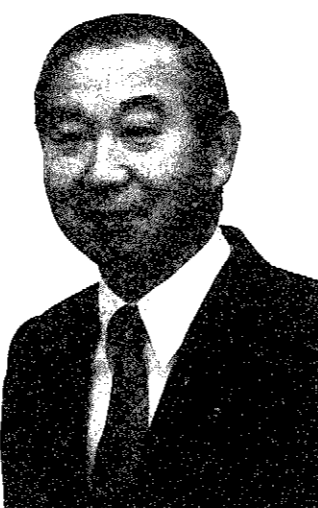
平素、町政並びに議会運営に對しまして暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、新潟県において、想像を絶する災害に見舞われた年でありました。記録的な集中豪雨により、三条市見附市、中之島町をはじめ下越中越の多くの市町村に甚大な被害をもたらした7・13水害をはじめ、これに追い討ちを掛けるかのように今度は、中越地方を震源とする震度7の地震が10月23日に発生し、多くの人命を奪うとともに、平和な住民生活を根底から覆す多大な被害が発生しました。国の激甚災害指定を受けるなか災害復旧が行われていますが、一日も早い復興を願わずにはおられません。幸いにして、当町では7・13水害及び中越地震による大きな被害はなく、生活に支障を来たすに至りませんでした。しかし、

台風がもたらした塩害により、農作物への影響は大きく、特に水稲では大幅な収量の減収、また、著しい品質低下により、農家の皆様は大きな打撃を受けた1年でありました。

そうしたなか昨年の町政については、市町村合併問題について住民の意向を尊重するとして、1月の町長選挙で当選した田辺町長のもと合併問題が最重要課題と位置付けられ、取り組みがなされてきました。住民説明会の開催、またアンケート調査の実施、そして、住民投票が8月8日に実施され、その結果、約6割の合併賛成を得たことにより、新潟市との合併の取り組みがなされてきたところです。これまでの合併問題について住民の意向を確認しなままの町政から、180度転換する、巻町にとって誠に大きな節目の年でありました。

この合併問題につきましては、議会といたしましても昨年3月に「巻町市町村合併等調査特別委員会」を設置し、都合10回の会議を重ねるなか真剣に討議してまいりました。この間、昨年



巻町議会議長 山下 清司

10月から開催された新潟市との任意による合併協議会において、合併に係る事務事業の調整及び合併建設計画等について協議し、巻町、新潟市相互が合意という経過を経たなかで、昨年12月、両市町のそれぞれの議会において法律に基づく「新潟市・巻町合併協議会の設置」を議決したところであります。本年1月中旬に開催されるこの合併協議会において、最終的な詰め協議を行って参りたいと思っております。

国の地方分権推進計画に基づく市町村合併は、避けては通れない行政課題であるわけであり、市民の皆様への説明、行政サービスの向上を基本に鋭意努力いたす所存であり、皆様のご期待にこたえるよう決意を新たにしてまいります。終わりに、皆様方のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。心からお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。





平成16年度

巻町表彰式

巻町褒賞条例に基づき2月2日、巻町文化会館で「巻町表彰式」を行います。今回は巻町合併50周年を記念し、記念顕彰も同時に行います。表彰を受けられるのは、35人・8団体の皆さんです。(敬称略)

合併50周年記念

(財)三根山有終団
理事長 坂田 禮二(峰岡)
旧三根山藩の史跡の掘り起こしや開府以来の良き伝統や藩風を町内、地域に普及することに努めた。また、旧長岡藩関係機関との連携を図りながら、協力して米百俵の送り主三根山藩の心を広めることに努めた。

安田 弘之(東京都板橋区)

巻町馬堀生まれ。漫画雑誌に連載され大ヒット作となった「シヨムニ」の原作者、江角マキコ主演でテレビでもドラマ化され、大人気となった。現在、「先生がいっぱい」など各誌で大絶賛中。新聞、雑誌で新潟県巻町出身という紹介で、巻町の知名度アップに貢献している。

故 山添清一郎(堀山団地)

昭和30年1月1日から新生

巻町の町長職務執行者として1か月在職(旧巻町十五代町長)。

故 河治 忠(4区)

新生巻町の初代町長。昭和30年2月から10年5か月在職。

江端 一郎(5区)

二代町長。昭和41年8月から8年在職。

故 村松 次一(12区)

三代町長。昭和49年8月から4年在職。

故 高野 幹二(12区)

四代町長。昭和53年8月から4年在職。

長谷川 要一(東6区)

五代町長。昭和57年8月から4年在職。

佐藤 莞爾(4区)

六代町長。昭和61年8月から9年4か月在職。

笹口 孝明(松野尾)

七代町長。平成8年1月から8年在職。

自治功勞

石高 一男(東町)

長年にわたり巻町農業委員として他の委員の模範となるべく活躍し、農業生産力の向上、農業経営の合理化、農民の地位向上に寄与した。農業委員5期15年のうち、農政農振部会長代理と農地部会長代理を各1期3年務めた。

河村 力松山

長年にわたり巻町農業委員として他の委員の模範となるべく活躍し、農業生産力の向上、農業経営の合理化、農民の地位向上に寄与した。農業委員4期12年のうち、農地部会長代理及び農政農振部会長を各1期3年務めた。

朝倉 長麿(越前浜)

巻町選挙管理委員会委員長

社会福祉向上

小林 敬(漆山4の丁)

巻町選挙管理委員会委員長職務代理として長きにわたり、各種選挙だけでなく、他市町村には見られない多くの直接請求や住民投票を適正に管理執行し、かつ住民に対する啓発活動に尽力した。委員通算13年8か月のうち、委員長職務代理8年、委員長を4年務めた。

中澤喜代志(11区)

町の「じよんのびのびの一日」事業において散髪に協力。得雲荘で行っていた当時は組合の一員で協力されていたが、じよんのび館で水曜日開催するようになった平成5年以降12年間は、一人で協力している。

頼所 功(グリーンハイツ)

片眼の視力を失って以後、巻町身体障害者福祉協会のグリーンハイツ地区担当役員として10数年会員の世話をしたり、自宅を開放して区民とのコミュニケーションの場を提供したりして、融和を図り喜ばれている。

本間 司(赤縮)

民生・児童委員として平成4年から12年の長きにわたり使命を認識し、研鑽を重ね、地域住民の福祉向上に貢献した。

長谷川 正史(吉田町)

上堰湯公園の緑化に役立ててほしいと、ハナシヨウブ2千株(34万円相当)を寄附した。

鈴木 忠孝(松野尾)

町の緑化に役立ててほしいと、パンジー8千株(80万円相当)を寄附した。

巻北小学校創立30周年記念事業実行委員会

実行委員長 阿部 秋雄
創立30周年記念事業として、グラウンドピアノ(122万円相当)を寄附した。

寄附

西村 幸枝(7区)

現金50万円を寄附した。

保刈 佛吾(堀山団地)

4町立保育園に絵本や紙芝居315冊(40万円相当)を寄附した。

有田 悟(3区)

矢川ふれあい公園屋外時計設置工事費相当分の現金145万円を寄附した。

板垣 俊一(新潟市)

巻町民チャリテイゴルフ大会

行政への協力

岩崎 忠孝(松野尾)

平成5年度から12年度まで、松野尾地区の地籍調査の啓発普及や一筆地調査の案内、町との連絡調整役として協力し、地籍調査の推進に多大な貢献をした。

●表彰に関する問合せ

総務課 庶務行政係
☎72-3131(内線214)

善行模範行為

大橋 鞠彦(葉書場)

病気で両眼の視力を失って10年経過したが、小学校や特別養護老人ホーム、病院等へのボランティアを積極的に行っており、他の大きな手本となっている。

桑原 玲子(稲島)

稲島分館の清掃を昭和61年から自主的に行い、地域の美化に努めている。また、巻町観光協会主催の角田山山開き(19回)、角田山提灯登山(19回)、峰岡地区公民館主催のきのこ講習会(18回)等の行事にボランティアで参加し、管理運営の手伝いと後片付けのリーダーとなり、施設の美化に努めている。

東北電力(株)巻営業所

所長 小林省司

平成2年から現在まで、街路灯を寄附し続けている(計183灯以上)。

巻町民チャリテイゴルフ大会

代表 加藤弘明

伊藤 信(福井)

民生・児童委員として平成4年から12年の長きにわたり使命を認識し、研鑽を重ね、地域住民の福祉向上に貢献した。

佐藤 庄一郎(7区)

民生・児童委員として昭和61年から18年の長きにわたり使命を認識し、研鑽を重ね、地域住民の福祉向上に貢献した。

揖斐 操(東6区)

民生・児童委員として平成元年から15年の長きにわたり使命を認識し、研鑽を重ね、地域住民の福祉向上に貢献した。

佐藤 松治(東町)

民生・児童委員として平成元年から15年の長きにわたり使命を認識し、研鑽を重ね、地域住民の福祉向上に貢献した。

山田 マツエ(漆山4の丁)

民生・児童委員として昭和58年から21年の長きにわたり使命を認識し、研鑽を重ね、地域住民の福祉向上に貢献した。

保健衛生

体育向上

巻西中学校水泳部

北信越大会400リレー優勝、全国中学校水泳大会8位入賞。【メンバー】小林頌之、北川直弥、金子優太郎、内藤紀之(以上3年生)

巻西中学校女子ソフトテニス部

北信越大会団体戦優勝、全国中学校ソフトテニス大会団体戦5位入賞。【メンバー】板井あゆみ、大塚美穂、内藤菜摘(以上3年生)、土田春華

角田山物語 ⑦

文・写真／長島義介
(新潟青陵大学教授)

冬になるとカキやカエデの枝を見ると雀の卵の様なものが見ているのを見かけます。それを見て何だろうと思つた方もおられるのではないのでしょうか。俗にスズメの卵とかスズメの枕とか呼ばれているイラガの繭です。手に取ると非常に硬いので繭と言つてもすぐに信じられませんが。土地の人はイラガが羽化



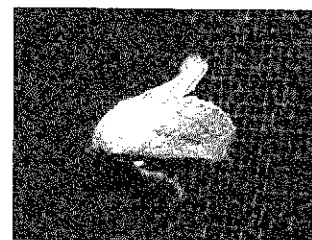
イラガの繭
小さい卵型をしていることから
スズメの卵とか枕とよばれる。

雀の卵 イラガの繭

と指導者を東京のホテルオークラに招いて読売交響楽団の演奏を聴かせ、豪華なレセプションを開き、その年に科学技術の分野で活躍した人



イラガの幼虫
俗に八幡太郎の名があるイラガの幼虫。刺されるとヒリヒリと痛む。



イラガの成虫
小型で山型に止まるのが特徴。薄黄褐色をしている。

の五賞の一つである全日本科学教育振興委員会賞に輝きました。当時の読売新聞の社長さんは科学教育を盛んにするため中学・高校生にノーベル賞と同じ様な表彰式を体験させようと考えたのです。受賞者と指導者を東京のホテルオークラに招いて読売交響楽団の演奏を聴かせ、豪華なレセプションを開き、その年に科学技術の分野で活躍した人

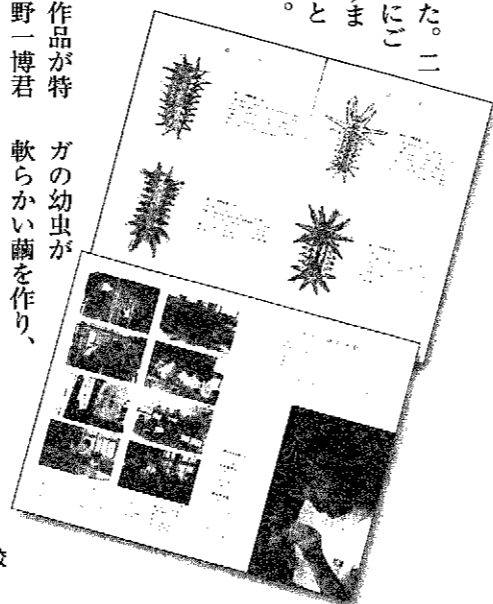
物に丸い穴があいているのでスズメノショウベンタゴ(小便壺)とも呼んでいます。昨年の7月の始めに、妻が「お父さん、ここにいるのは毒蛾ですか」といつてきました。家内の指さすところへ行くと、少し山型になって雨戸のサッシの網に止まっている小型の蛾がいます。私はそれを見たとき、懐かしさが込み上げてきました。今から40年前、漆山中学校の生徒たちと一緒に研究したイラガの成虫です。

ガの幼虫が軟らかい繭を作り、模様をつくりながら山型に繭が硬くなる様子を調べたりしました。ある日、飼育室に張ったフェンスにイラガの卵が産みつけられ、軟らかく自由に形が変わってしまう卵なのに、イラガの幼虫が孵化してきたのを見て生徒たちは感動しました。研究をつづけているうちに、繭の中からハチやハエが出てきたのに驚きました。その寄生蜂や寄生蠅の生態を調べながら研究の夢はどんどん大きく広がりました。

昭和39年(1964)に学生と発表したイラガの研究が見事に県学生科学賞で最優秀賞に選ばれ、さらに各都道府県代表が競う日本学生科学賞で最優秀賞の五賞の一つである全日本科学教育振興委員会賞に輝きました。当時の読売新聞の社長さんは科学教育を盛んにするため中学・高校生にノーベル賞と同じ様な表彰式を体験させようと考えたのです。受賞者と指導者を東京のホテルオークラに招いて読売交響楽団の演奏を聴かせ、豪華なレセプションを開き、その年に科学技術の分野で活躍した人

物に丸い穴があいているのでスズメノショウベンタゴ(小便壺)とも呼んでいます。昨年の7月の始めに、妻が「お父さん、ここにいるのは毒蛾ですか」といつてきました。家内の指さすところへ行くと、少し山型になって雨戸のサッシの網に止まっている小型の蛾がいます。私はそれを見たとき、懐かしさが込み上げてきました。今から40年前、漆山中学校の生徒たちと一緒に研究したイラガの成虫です。

ガの幼虫が軟らかい繭を作り、模様をつくりながら山型に繭が硬くなる様子を調べたりしました。ある日、飼育室に張ったフェンスにイラガの卵が産みつけられ、軟らかく自由に形が変わってしまう卵なのに、イラガの幼虫が孵化してきたのを見て生徒たちは感動しました。研究をつづけているうちに、繭の中からハチやハエが出てきたのに驚きました。その寄生蜂や寄生蠅の生態を調べながら研究の夢はどんどん大きく広がりました。



当時の漆山中学校生物部のイラガ研究の様子
◎受賞記念誌「イラガの研究」1967 漆山中学校

今年「酉年」

平成7年は酉年です。十二支の動物の中で、唯一の鳥類です。干支の「酉」は「ニワトリ」のこと。単に鳥というよりもニワトリ(鶏)を思い浮かべる人も多いようですが、ニワトリは人間と最もなじみの深い鳥といえます。

ニワトリ(鶏)に関することわざや慣用句は、あまり聞きません。「鶏口となるも牛後となるなれ」は、鶏を小さな組織、牛を大きな組織にたとえて、大きな組織の属員になるよりは、小さな組織でその頭となるほうがよい、の意味。小さくとも勇ましい鶏の姿が思い浮かびます。

一方、「鳥」に関することわざ・慣用句は、いくつもありそうです。「籠の鳥」は、籠に入れられた鳥は飛ぶに飛べないところから、自由を奪われていること。または、そのような境遇にある人。「空飛ぶ鳥も落とす(飛ぶ鳥を落とす)」「空を飛んでいる鳥も落とす」とは、空を飛んでいられる鳥も落とすほど威力があるさまのたとえ。打ち落とされる鳥といえは「一石二鳥」。一つの石を投げて二羽の鳥を同時に打ち落とす意から、一つの行為によって同時に二つの利益を得ることの意味。「閉古鳥が鳴く」は、貧しくてびびりしているさま。また、商売などがはやらないさまをいいます。

閉古鳥を追い払い、今年こそ本格的な景気回復でたくさんのご利益を、といきたいものです。

また、ニワトリといえは卵です。卵そのものを調理したものや、パンや菓子など卵を原材料として用いている食品を含めれば、卵が私たちの食卓を飾らない日はないといってもいいでしょう。

その卵を、日本人は1年間にどのくらい食べているのかご存じですか。過去の世界統計などによると、日本人は1人当たり年間300個以上消費しており、これは世界でもトップクラスです。ニワトリにはずいぶんお世話になっているわけですね。

「鶏鳴」という言葉があるように、ニワトリの鳴くころといえは明け方近く。朝を迎えるための合図でもあったニワトリの鳴き声を聞く機会は、昔に比べて少なくなつたといえます。鳴き声どころか最近はその姿を見かけることも少なくなりました。昔は農家の庭先などに飼われていて、文字どおり「ニワトリ」でした。現在は鶏舎などで飼われることが多いため、身近に触れる機会も少なくなつてしまいました。

昨年は鳥インフルエンザによる感染が問題となり、養鶏農家や私たちの日常生活に大きな影響を及ぼしました。今年はそうした問題が起きないよう祈りたいものです。

ともあれ、よい年でありませうに。



うすれゆく

正月の香

新生活運動(※)は、どこ吹く風と農家は旧態として二月正月を迎えた。三十一日の歳夜は塩引、コンブ、豆、油揚げなどの料理で年を送る。元旦の宮詣り、三日迄はきといつて雑煮を祝う。十四日の夜まゆだまを飾る。子供のいる家は、今でもやつて



マユダマ(中郷屋)

十五日からは、子供達にとつて楽しい小正月に入るのだが、もとは、さいの神の勧進もぐらもち追い、成木寅などの農耕儀礼が、異色ある行事として行われて来たが、今はまったくなくなった。さいのかみの勧進だ。錢でも金でもさくさくとへよこづちんのお通りだ。もぐらもちここにいたか。隣屋しきへびよんととべ(もぐらもち追い)



豆罫売り(巻)

へなるかならぬか
ならぬとたつ切るぞ
(成木寅)

やがて二十日正月を最後に、正月の気分もだんだん薄れてくる。雑草の種入れなどから、農家は心せわしくなつてゆく。

だが、まだまだ吹雪く日も多く、そのつと炬燵におちつくが、雪に暮れる夕べの町を流してゆく豆腐屋の笛の音色。なぜかしら春がしのばれる此頃である。

昭和31年2月15日から

昭和30年代前半まで、正月は旧暦をもとに2月に行うところが多かった。国は、こうした古いしきたりや因習による貧しさからの開放、毎日の生活を楽しく送るための一つの手がかりとして昭和30年「新生活運動」を全国的に展開。巻町では昭和32年6月「巻町新生活運動協議会」が結成され、新正月(1月)の実施や集會時間の短縮などが最初の議題にあがる。この結果、巻町では昭和33年から新正月が実施されることになった。

MR検査の不思議

たぶん多くの方はMR（エム・アール）やCT（シー・ティー）という検査のことをご存じかと思いますが。また検査を受けられたことがある方も多数いらっしゃるのではないのでしょうか。

通常、検査は横たわって安静にしている状態で撮影しますが、病気の状態によってはきれいに写すため造影剤を使う場合があります。

MRもCTもコンピュータ断層診断装置ですが、両者の大きな違いはCTがエックス線を使って画像を撮影するのに対し、MRは磁石の力による「核磁気共鳴現象（かくじききょうめいげんしょう）」を利用して撮影する点です。

もう一つの大きな違いはCTが基本的に輪切りにしたような断面を撮影するのに対し、MRはタテ・ヨコ・ナナメなど任意の断面の撮影ができるということです。このことからMRの方が優れていると思われるかもしれませんが、MRの欠点もあるのです。

例えば、磁石の力を利用するため体内に骨折治療の金属などが入っている人やペースメーカーなどをしている人は、害を及ぼすおそれがあるので検査できません。また一回あたりの撮影時間が長いので、救急患者様には不向きです。

こんなことからそれぞれの装置は、患者様の状態や疾患に応じて使い分けられています。

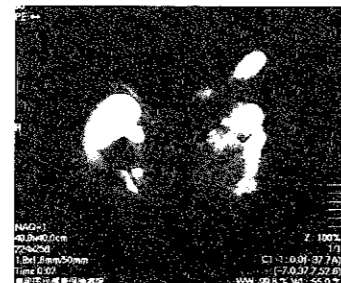
また、MRで撮影した画像は診断の目的に合わせて、コンピュータで合成などの加工をすることができますので、完成した画像は特別な知識がない一般の人にも見やすい不思議な画像となります。

このようにMRは血管、臓器、骨、筋肉など体のほとんどの部位を撮影することができます。当院で撮影した画像を何点かご紹介します。

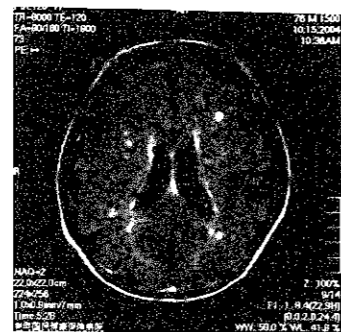
放射線科 主任放射線技師 阿部敏幸



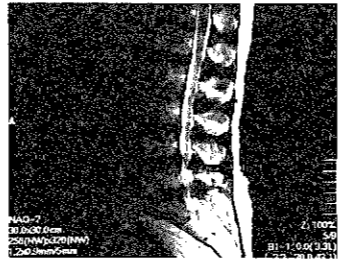
頭蓋内の血管の映像です。脳動脈瘤（のうどうみゃくりゅう）や狭さく等を見つけることができます。



胆道系（たんでうけい）の画像です。左上方の白い楕円形に見える部分が胆のうで、その右上から下の方へ続く白い線状のものが胆管です。胆石・胆のうポリープなどを見つけることができます。



頭部を輪切り撮影した画像です。脳内に白く見えるものは多発性の脳梗塞です。MRではこのような小さな梗塞も見つけ出すことができます。



腰椎側面の画像です。椎間板ヘルニア・圧迫骨折等を見つけることができます。画像の中央に見えるのは横から見た背骨で、骨と骨との間の椎間板が外側へ飛び出しており、椎間板ヘルニアが疑われます。



膝関節側面の画像です。整形外科などで骨や靭帯（じんたい）の状態を診断することができます。



MR室内部



昨年12月6日（月）午前10時、ふれあい福祉センターへ「巻切り絵サークル」の皆さんをたずねました。室内では、4人の方が一つのグループとなって、切り絵の制作に励んでいました。黒色の台紙に原画を両面テープで固定したものをカッターマットの上に乗せて、原画の線にそって不必要な部分をカッターで切り取っていく作業です。カッターは特別な物でなく、ごく普通のカッターです。1本のカッターが1枚の紙に美の息吹を吹き込み無から有を生み出して、出来上がった作品の線、白と黒とのバランスなどは筆やペンなどで描いたものとはまた異なった魅力があります。

この会は、平成11年11月に高齢者の生きがい対策また人との交流に有効であるとの趣旨で、結城吉雄さん（前田）が中心となって設立されました。現在の会員数は巻地区28名、漆山地区10名の計38名です。巻地区が第1・第3月曜日

の午前9時から11時30分までふれあい福祉センターで、漆山地区は第2・第4土曜日で午前9時から11時30分まで漆山地区公民館で開かれています。

年間行事（平成16年度）は、1月は切り絵をはじめ、新年会、諸決算報告、4月は新潟グリーンプラザで新潟市、分水町、巻町の切り絵同好会の切り絵展、7月は1泊2日の研修慰安旅行（長野方面）、11月は巻町文化会館に各人が出品する作品を毎月交代で展示しています。12月は年末年始の正月用神棚飾りの制作にあたります。その年の干支や正月にふさわしいお目出度い図柄などを切り、日頃お世話になった人などに良い年を迎えてもらうために贈呈するととても喜んでくれるそうです。「それが私たちにとって何よりの幸福感です。とくに正月用は皆様方が新しい年を迎え健康とご多幸とを願って切っております」と結城先生。

教室の中も生徒さん同士が和気あいあいと会話を交わしながら、カッターを巧みに操って制作に打ち込んでいます。そこには息を凝らすような重苦しい空気は存在せず、むしろ明るくて、おおらかで優しい雰囲気をその場に在る皆さんが自然に醸し出していました。生徒さんの平均年齢は65歳、最高齢者は85歳の女性です。この方は70歳代に見えますが、お話しによると手先を動かす事は脳の健康に良いと考え、切り絵を始めたとの事です。

人生を有意義に、幸福を実感して生きるためには、十分に働く健康な脳が必要です。幸福な人生とは「快感を得て積極的に生きること」です。食べたい物を食べ、行きたいところへ旅行すれば楽しい、これも幸福です。一方、勉強や難しい作業に励む事は不幸なのか、決してそうではありません。新知識を得たり難作業を完了したりした時には知的な快感と達成感で幸福になります。切り絵の制作は、その難しさの程度に比例して快感と達成感は大くなります。

ある女生徒さんは、切り絵の世界は無限であると言われました。含蓄が深い言葉です。これからも限り無いチャレンジを続けていくでしょう。それは見果てぬ夢かもしれません。

しかし、いつまでも夢を追い続けることは目標を持って積極的に生きる事です。目標があればそれを達成しようと希望が湧き出て「やる気」が生まれます。目が輝き、キビキビと行動する。これがイキイキ人生です。切り絵教室の皆さんはこれを実践しています。

●連絡先
「全国切り絵同好会」
講師 結城吉雄さん ☎72-3505

◆レポート
若月正光（広報まき編集委員）
*参考文献
「脳の健康」生田 哲 2002(株)講談社

いつまでも 夢を 追い続けて

～巻切り絵サークル～



中世に一向宗と異称された浄土真宗の開祖は、藤原氏の末裔である日野氏出自の親鸞(1173~1262)である。親鸞の思想(教え)として著名なのは、親鸞に長く仕えていた唯阿(あまのあ)が、師の亡き後、その教えが種々に解釈されているのを憂えて著述した「歎異抄」である。これは「いずれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」という痛烈な自己批判の言葉が認められる。また、「善人なおもて往生をとぐ。いわんや悪人をや」という言葉に込められた、どんな方法を尽くしても悪人は救われそうもないのに、そうした悪人であればなおさらのこと救われなければならないという、いわゆる「悪人正機」の思想は、それまでの日本仏教界には存在しない衝撃的なものであった。

親鸞は、それまでの仏教界で絶対禁忌とされていた肉食妻帯を自ら実践している。仏教界の革命児でもあった。僧にあらず俗にあらず、愚禿(ぐとく)といわれた。そして、自分が開いた宗教思想は、自身が救われるためのものであり、弟子や門人、それに教団を持つことも否定したほど自らに厳しい求道家であった。日本の思想史上の最大の人傑である。

仏教は、自分自身の努力によって悟りを開いて仏になれるという考えであった。「絶対確実に救われる」という考え

方は存在しない。浄土真宗は、阿彌陀如来を絶対的存在とすれば、一神教であり本質的にキリスト教に近い。浄土真宗が他の仏教と決定的に違うのは、従来の仏法では地獄へ必ず堕ちる凡夫、悪人、破戒者など、生きるための※業(ごう)を背負っている者は、全て阿彌陀如来の願船に乘せられ絶対確実に極楽往生ができるという仏教思想にある。この教義は、これを思索した親鸞一代では一般社会に流布されて浸透することはほとんどなかった。

浄土真宗を日本最大の仏教団に仕立て上げたのは第8世蓮如(1415~1499)であり、この人物の85年の生涯の間に強大な浄土真宗教団の基礎が確立した。浄土真宗において、蓮如が中興の祖といわれる所以である。

善人は言うまでもなく、悪逆無道の限りを尽くした極悪人も、浄土真宗では絶対確実に救われるのである。この教義を一般民衆の中に分け入り、伝道と布教に努めたのが蓮如である。蓮如の洞察力は驚嘆すべきものがある。既存の仏教は、時の権力者や有力者の庇護に全面依存して繁栄を誇示していたが、その限界性を急速に見抜き、伝道・布教の対象をそれまで宗教に無縁の存在と言っても過言ではない一般大衆に定めた点である。権力闘争は歴史の必然的事象であって、

時の権勢者はいつしか抗争に敗れ次代の権力者が台頭してくる。しかし、民衆は滅亡することはない。この時代、日本各地で萌芽し始めた農漁村自治協同体ともいえる「惣」に接触し、その組織全体を門徒(信者)に組み込む信者獲得法を用いた。蓮如の非凡な組織構築能力を知ることができる。門徒たちは「講」といわれる集会に参加し、そこで念仏を唱え、法話を聞いた。さらに、蓮如は「御文」という書状を門徒に送った。これは開祖親鸞の教義をかな交じりの語り言葉で、理解・解釈などがすぐ出来るように記されていた。この文書による布教・伝道も画期的なもので、浄土真宗の流布と伝播に大きく貢献した。

奈良時代や平安時代の仏教は、その対象は貴族に限定されていたといってもよい。鎌倉期に禅宗が興ったが、当時の知識人を対象としたもので、全国の武士階級が信奉し、その擁護のもとに寺院が建立されたが、僧侶たちは一般庶民に説法することはなかった。日蓮宗、浄土宗も、武士から土地を寄進され、武家の保護のもとで寺は運営された。

浄土真宗だけは異質である。一般民衆の中で宗旨は広まり、「講」という組織でその教義は拡散と拡大を続け、民衆の金銭や米穀(浄財)で寺や道場が建てられていった。15、16世紀にかけての庶

民は、仏教が日本渡来後、はじめて仏法というものを聴き、はじめて生命の知識や世界観をもったと言えるだろう。その当時の人々の驚きの鮮烈さや激しい感動は、情報洪水の時代に生きている現代人には想像不可能かもしれない。しかし、これが理解、認識できなければ、15、16世紀頃における歴史の実像は見えてこないであろう。

さて、巻町への浄土真宗の伝播の正確な時期は判然としない。また、最初に真宗寺院や道場が建立された詳細な時期と明確な地点も不明のようである。しかし、浄土真宗門徒が14世紀には既に巻町には存在していたことを提示する資料が京都に残存しているという。(以下 次号)

※業(ごう)：前世の悪業によって、現世で受ける苦しみ

●若月正光(広報まき編集委員)

【参考文献】
「巻町史 通史編 上」1994 巻町
「仏教の常識がわかる小事典」2002
松濤弘道 P H P 研究所

運動しま専科2 PART

今回は、この2団体です。
ぜひ、皆さんも運動しま専科!
●問合せ 生涯スポーツ課
☎72-3131(内線251)



No.5 巻スキー協会

代表者 小川洋一
団員数 60人(SA指導員含む)
練習日 毎週火曜日 午後7時~9時
練習場所 巻工業高校体育館

●団体PR: SA傘下の新潟県スキー連盟所属の正式な団体です。巻町体育協会にも加盟し冬場の活動以外でも協力しています。10年前、2つのスキー団体がひとつにまとまり、町から委託を受けている町民スキー&スノーボード教室を主催し好評を得ています。また、独自のイベントを企画し、団員だけでなく性別年齢を問わず、広く参加を呼びかけシーズン中はほぼ毎週のように行事があります。生涯スポーツとしてのスキー・スノーボードと一緒にやってみませんか!!

●体育指導委員取材コメント: 今年もいよいよスキー・スノーボードシーズンの到来ですね。協会の皆さんもシーズン目前ということもあり、熱心に話し合っていました。もうすぐ町民スキー(P.14)の申込みも始まります。気軽に参加できるイベントですので、ぜひ多くの町民の方々に参加して頂きたいと思います。

No.6 ジュニアホッケーチーム

チーム名 新潟CREA(クリエ)ジュニアホッケーチーム
代表者 坂井博子
団員数 24人
練習日 毎週土曜日 午前9時~正午
練習場所 【夏期】城山運動公園多目的広場
【冬季】巻工業高校体育館



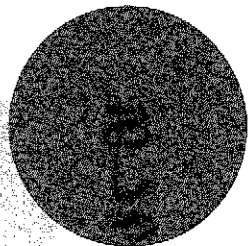
●団体PR: 現在団員24名。小学3年生以上なら誰でも入会でき、元気に伸び伸びとホッケーを楽しんでいます。スティック等の用具もすべて支給。指導も、現在東日本のトップリーグで活躍する新潟CREAの選手が全面的にバックアップしています。新しいことに挑戦したいいきみ、心身ともに成長したいあなた、ぜひ、一緒に汗を流しましょう!みんなて巻町の町技「ホッケー」をしよう!



チーム名 漆山ジュニアホッケークラブ(U・J・H・C)
代表者 田辺優二
団員数 20人
練習日 【月曜日】午後6時30分~8時30分
【土曜日】午前9時~正午
練習場所 漆山体育館

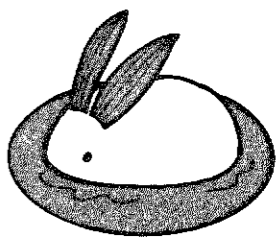
●団体PR: ホッケーを通じて、「友情、人を思いやる心を育てる」をモットーに練習を行っています。そしていつか、全国の舞台でナンバー1を目標に、クラブ一貫となって頑張っています。小学生なら、誰でも入会できます。いつでも練習会場へ来てください。

●体育指導委員取材コメント: 寒い体育館の中でも子どもたちは、元気いっぱいボールを追いかけたり、シュートを決めたり一生懸命頑張っていました。また、熱心に指導をしていた方の話を、目を輝かせながら聞いていたのを見ていたら、将来この中から2009年の新潟国体の選手やオリンピック選手がでるのではと思いました。将来が楽しみです。そのほかに、小学生たちに負けたくないくらい中学(巻東・巻西)・高校(巻・巻総合・分水)・成年チーム(CREA)も頑張っています。



彩時記

雪うさぎ



あけましておめでとう(ごい)ます。
皆様、それぞれの思いで新年を迎えられた事と思います。
私は今年も元気と笑顔をもっとに頑張ります。

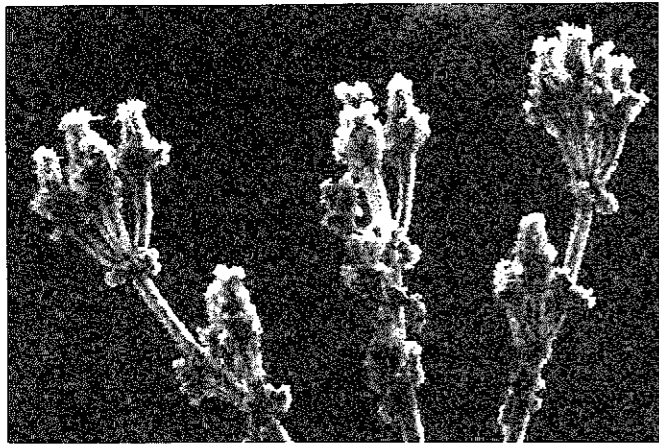
今年の冬は雪が少ないという予報が出ている。まだまだ寒さは続くので雪の行方はわからないが、願わくば雪はスキー場とか、絶対必要な所にだけ降ってほしいと思う。雪が多ければ除雪作業に労力を使い、出勤時間も早まるので朝の忙しさが増えてしまう。車の運転も恐いし、光熱費もかさむ。雪は普段の生活に大きな負担をかけるので、冬になると私は気が重いのだ。テレビの天気予報を見ると、降雪のマークとして雪だるまが付けられるが、雪国に暮らす人々にとっての雪は、雪だるまが持つようなほのほとした、楽しいイメージばかりではないはず。雪国の暮らしは雪との戦いでもあるのだ。しかし、冬来たりなば春遠からじ。大

してはいた。雪合戦、ソリすべり、雪だるまやかまくらも作った。

確かに冬は気が重い。だが、私も雪国生まれの雪国育ち、批判ばかりしている訳ではない。雪に覆われた景色を見ると、その清冽な美しさに心が魅きつけられる。朝起きて、窓ガラス越しに外を見るとあたり一面の銀世界、外に出るとびんと張りのついた空気が心地いい。まだ誰も踏んでいない雪の上に、一歩、一歩と進み、道を作る。除雪をしなければならぬ時は、スコップを持ち出して手つかずの雪をサクサクと押しつけて行く。別にどうでもない事が、雪の朝には面白い。雪国の人達は時には雪を愛しく、敬い、とまどいなながらも共に暮らして来た。生活の

変な思いで冬を過ごすからこそ、春を迎えた時の喜びも大きいものがある。なにはともあれ、今年も無事に新春を迎えられた事はありがたい。

今は地球温暖化とかで、降雪量はめっきり少なくなった。私の子ども時代には、十一月中旬に初雪が降り、十二月はもう雪の中での生活だったように思う。あの頃は雪がうれしかった。雪が積もってこそ遊びができるので、雪が積もると待ってましたとばかりに外へ飛び出して行った。今のようにゲームもなければ塾もない。学校が終われば、ただ遊ぶのに熱中



一部として受け入れざるを得ない環境の中、人と雪との歴史が刻まれて来たのだろう。

小学生のときの冬休み、雪がたくさん積もった親せきの家の庭で、姉が雪うさぎを作った。姉は工作や絵が得意な人なので、その雪うさぎもとても上手だった。南天の赤い実で目をつけると、雪うさぎは命を吹き込まれたかのように生き生きとして見えた。まるで今にも飛び跳ねそうだった。もうひとつ、姉はおにぎりだと言った丸めた雪をくれた。大きなその雪のおにぎりを半分に分けると、中から葉っぱの具が出てきた。たわいのない物なのになんだか楽しくて、うれしかった。大人になって雪遊びをする事はなくなった。夢中で雪と遊んでいた頃は遠くまで降り、降るのが待ち遠しかった雪は、降ってほしくない雪に変わってしまった。無邪気な子どもから現実と向き合う大人になったからだ。確かに冬は気が重い。でも、冬は変わらないうちに来る。あの時の雪うさぎも私の記憶の片隅にあり、冬の訪れといっしょに鮮明に思い出される。今年も少雪と言うが、ほんの少しでも積もったら雪うさぎを作ってみよう。子ども達が雪を喜ぶように、自分ももう一度雪を受け止められたら、きつと雪うさぎは元気に飛び跳ねてくれるだろう。

●太田美佳 (広報まき編集委員)

クローズアップ

数字を使った言葉と政治

故事・ことわざ・慣用句には、昔の人の経験の積み重ねから生まれた生活の知恵や教訓が一杯。そこで、数字を使ったことばと、今の政治の有様をつなげて連想するのも面白いものです。

「一度が末代」(一度きりの事でも子孫の時代になっても批判される) 例外なき関税化は、日本の農業・米、荒廃への道。誤った決断は、将来への大きな禍根。断固拒否を貫くべし。

「一葉落ちて天下の秋を知る」(わずかな兆しから大勢を察知する) 一葉とまでゆかずとも、二葉、三葉落ちれば景況察知、先手、先手の施策打つべし。後手に回れば効果は半減する。

「一寸の虫にも五分の魂」(小さい弱いものにも、それ相応の意地や思慮がある) 国民も、蒙昧の徒として見くびれば、必ず受けるしっぺ返し。

「一挙手一投足」(細かい動作の一つ一つ) 情報発達、四方へ即座に渡る。一挙手一投足は言うに及ばず、顔の一动さえも、国民は見逃さず。

「二期一会」(人との出会いは、一生に一度の機会と思つて誠意をもつて接する) 面との出会いは無くても、何十万票との出会いあり。その重みに応えるは、常に変わらぬ誠意と正道。

「一文の銭を一文にも使う」(無駄に金を使わず、有効に生かして使う) 何十兆円といわれる国の予算。やりくり苦労で納める税と、後代負担の国債が源。不当不敵の支出あるべからず。

「一日三秋」(一日が何年にも思えるほど待ちこがれる) 俟つたなし。政治改革、景気の回復。

「一枚舌を使う」(前に言ったことと食い違うことを平気で言う) これが特性と言われることの哀しきや無し。一枚に徹するのが当然にして信。

「二度あることは三度ある」(物事には反復する傾向がある) 歴史は再び繰り返す。過去の過ち、今に生かして。

「三百代言」(理屈に合わないことを正しいと思わせて相手を言いくるめる) 政治に詭弁あるべからず。正論堂々たるべし。

●内山美雄 (広報まき編集委員)

今さらさんなを他人に問はず



大疑問!

●ホテルの備品、お持ち帰りOKとNOの基準は?

●全部のホテルに共通した基準はない。ただし、目安はある。いわゆる消耗品とされるものはOK、ホテル側がくり返し使うものはNOというのがそれぞれである。

たとえば、シャンプー、石鹸、歯ブラシ、歯磨き粉、クシ、ブラシ、ひげそり、化粧品、整髪料、シャワーキャップなどは消耗品だから、お持ち帰りは自由だ。また裁縫用品や化粧品が入ったポーチといったアメニティグッズも大丈夫。

ホテルの「コ」入りの便せんや封筒、メモ帳、ボールペン、使い捨てのスリッパ(これは海外旅行の機内で重宝)も筆々と持って帰ってもかまわない。

一方、NOはフェイスタオル、バスタオルなどのタオル類、バスロープ、グラス、靴べら、洋服ブラシといった品々である。

●なぜ空港の免税店は、出発時にしか利用できないのか



●海外に出発するときには空港内の免税店で酒やタバコを格安で買えるのに、帰国した際には免税店を利用できない。これは関税制度を協議、検討する、国際組織である関税協力理事会(WCO)の取り決めがあるためだ。

●免税店については、「免税店での販売は、海外旅行者に限る」と決められている。もつとわかりやすくいえば、免税店で購入した物品は海外で消費したり、使わなければいけないということ。どこの国にもある「Duty Free」(デューティフリー)ショップ「Duty Free」でも購入した物品はその場では受け取れず、帰国当日に空港内で受け取るシステムになっているのはそのためだ。

●K&I (広報まき編集委員)

巻町仁箇でロケ敢行!
**映画「千の風になって」
 ~天国への手紙~**
 1月15日、大倉修吾さんを迎いよいよ上映!

天国へ先立った大切な人へ向け、自らの想いを込めて綴った手紙を朗読するBSNラジオ「ミュージックポスト」の名物コーナー「天国の手紙」を基に映画化した、3話のオムニバス人生ドラマ。この映画にも出演している大倉修吾さんが1月15日(土)の上映前に舞台あいさつにこられます。

とき 1月15日(土) 午後7時上映
 1月16日(日) 午後1時上映

料金 前売券 1,300円
 当日券 1,700円

ところ 巻町文化会館

主催 映画「千の風になって」を上映する会

共催 巻町文化会館

問合せ 巻町文化会館 ☎73-2219

お知らせ

TOWN INFO MAKI

- 巻町役場 ☎72-3131
- 町立巻病院 ☎72-3111
- 巻消防署 ☎72-3309
- 上下水道課(浄水場) ☎72-2164
- 巻町文化会館 ☎73-2219
- 巻町公民館 ☎72-3329
- 巻町教育委員会 ☎73-2000

今月の納税
 町・県民税…第4期
 国民健康保険税…第9期
 納期限…1月31日(月)
 ※期限内の納入をお願いします。

納税は便利な口座振替で!
 ※口座振替の用紙は巻町税務課、金融機関に用意してあります。手続きには通帳と印鑑(通帳に使用のもの)が必要です。
 ※保険税の口座振替で世帯主変更があった場合は、口座振替依頼書で変更手続きをお願いします。

休日救急当番医
 1月16日~31日

外科	16日 県立吉田病院 (吉田町:☎92-5111)
	23日 本間医院 (分水町:☎98-2350)
	30日 吉岡医院 (吉田町:☎92-7887)
内科・小児科・歯科	西蒲原地区休日夜間急患センター (東6区:☎72-5499)

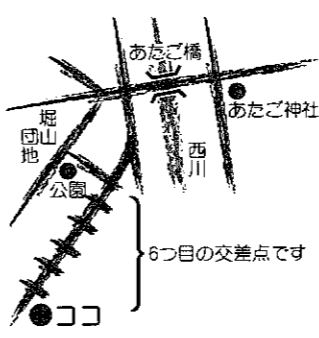
募集

スキー・スノーボード教室参加者募集
 とき 2月20日(日)
 午前6時30分
 (役場正面玄関前集合)
 ところ 六日町三十三スキー場
 対象 町民及び町内勤務者(小学4年生以下は、必ず保護者同伴のこと)
 募集人数 80人(定員になり次第締切)
 参加費 (リフト券・バス代・レッスン料・保険料含む)
 大人(中学生以上) 4,000円
 子ども(小学生以下) 2,000円
 持ち物 スキー・スノーボード用具、保険証・昼食・その他各自必要なもの
 ※スキー・スノーボード用具は現地でも借りることができます(有料)。
 申込方法 生涯スポーツ課における



催し
 申込書に必要事項を記入の上、1月13日(木)~28日(金)に参加費を添えて申込みください。
 申込み・問合せ 生涯スポーツ課 ☎73-1331 (内線251)
 お話したい、誰かと過ごしたい、好きな時に来て、好きなことをし、好きな時に帰る。子どもからお年寄りまでと誰でも気軽においでください。
 とき 1月23日(日)から毎月第4日曜日
 午前10時~午後3時
 ところ 堀山団地(巻)1806番地(22)

子育て支援センター 双子ちゃんようこそデー
 子育て中の双子ちゃんママ、育児について意見交換しながらお友だちづくりしませんか?
 とき 1月21日(金)
 午後1時30分~3時
 ところ どんぐりの舎
 問合せ・申込み
 子育て支援センター(どんぐりの舎) ☎72-6240
地域の茶の間に来てみませんか
 NPO法人(申請中) いいあんべえが民家を使い、「地域の茶の間」を行います。お茶飲みしたい、



対象 どなたでも
参加費 300円(食事をされる方は600円)
問合せ NPO法人(申請中) いいあんべえ 代表 佐藤正幸 ☎0256-323360

将棋「冬の陣」大会

とき 1月23日(日)
 午前9時30分(受付9時)
ところ やすらぎ会館本館

参加費 会員 1,000円
 一般 1,500円
 小・中学生 500円

※厚食代を含みます。
参加資格 町民または町内勤務者
対戦方法 参加者を2~3組に分けて総当たり戦
賞品 参加者全員にあり
申込締切 1月17日(月)
申込み・問合せ 巻町将棋会 伝川さん ☎72-5927
暮らしに身近な金融講座
 とき 2月3日(木)
 午後1時~2時30分
ところ 巻町公民館2階研修室
テーマ 「チャンス到来!」ペイオフ解禁で変わる私たちの暮らし」
講師 金融広報アドバイザー 田中陽子さん

参加費 無料
主催 巻町・新潟県消費者協会 巻支部
問合せ 生活環境課 生活環境係 ☎73-1331 (内線142)
みんなの楽しみは「おもしろ広場」
 「見て楽しむ」「聞いて楽しむ」「不思議で楽しい一日を過ごす」そんな、大人も夢中になれるゲームもあります。
 とき 2月6日(日)
 午前9時30分~1時30分
ところ 巻町公民館3階小ホール
視聴覚室
内容
 ・科学マジック 午前9時30分
 ・科学工作(ペットボトル空気砲)



など) 午前10時15分、ゲームで遊ぶ! 午前11時、対象となたても(小学生以下は保護者同伴)
参加費 無料
問合せ 社会教育課(巻町公民館) ☎73-2209
子育て支援センター 親子チャレンジデー MYカップを作ろう!
 特殊マジックで描く不思議なマグカップ、自分だけのオリジナルカップを作ってみませんか。
 心を含めて、お友だちのプレゼントでもいいですね。
 とき 2月12日(土)
 午前10時30分~1時30分
ところ どんぐりの舎
募集人数 30人(定員になり次第締切)

お知らせ

乳幼児をもつ保護者の方へ 予防接種のお知らせ
BCG接種について
 結核予防法の改正により、平成17年4月からツベルクリン反応検査が廃止され、直接BCGの接種を行うことになりました。
 なお、接種のできる年齢が医学的知見に基づき、現行の「4歳まで」から「生後6か月まで」となりました。
 これにより、平成17年4月時点で6か月を超える者については、それ以降は法に基づく予防接種ができなくなり、接種する場合は実費となります。
 今年度は、1月19日(水)のツベルクリン検査、1月21日(金)のBCGが最後となりますので、忘れずに接種してください。
問合せ 高齢福祉保健課 健康づくり係 ☎73-1331 (内線173)
 巻町保健センター ☎72-7100

基本健診・各種がん検診の申込書の郵送希望者はご連絡を
 町が行う平成17年度基本健康診査、各種がん検診の申込みについて、1月中旬に区長さん・班長さんを通じて申込書の配布をお願いする予定です。郵送を希望される世帯は、1月21日(金)までにご連絡ください。
連絡・問合せ 巻町保健センター ☎72-7100
アスベスト(石綿)の飛散防止について
 発がん性物質であるアスベストを使用している建築物の解体に伴い、これらが飛散することによる人への健康影響が懸念されています。
 ①アスベストが使用されている可能性の高い建築物について 昭和55年頃までに建築された鉄骨構造等の耐火構造建築物や準耐火構造建築物。
 ②建築物の解体届について アスベストを使用している一定規模以上の建築物の解体、補修時の際には、事前に届出書の提出が必要で
問合せ・ご相談 県三条健康福祉環境事務所 ☎0256-362201

平成17年・18年度「巻町入札参加資格」申請の受付
 平成17年・18年度、指名競争入札等に参加する資格の審査を受けようとする方は、次のとおり申請の受付を行います。

●申請様式 新潟県様式「建設工事・建設コンサルタント・物販」
 ●受付期間 平成17年2月1日~2月28日まで(この期間以降は、随時申請することが出来ます)
 ●提出方法 持参または郵送
 ●添付書類(建設工事の場合)
 ①入札参加資格審査申請書
 ②建設業許可証明書
 ③営業所一覧表
 ④直前2年の各営業年度における工事施行金額を記載した書面
 ⑤工事経歴書
 ⑥職員数を記載した書面
 ⑦技術職員の簿
 ⑧営業用機械器具類を記載した書面
 ⑨巻町の町税証明書(巻町の町税の納税者でないものにあつては法人税または所得税の納税証明書)
 ⑩消費税・地方消費税の納税証明書
 ⑪経営事項審査結果通知書の写し
 ⑫建設業退職金共済組合加入証明書
 ※各種証明書の写しでも構いません。
 ※建設コンサルタント・物販については新潟県様式の書類に進みます。
提出先・問合せ 総務課 財政係 ☎73-1331 (内線212)

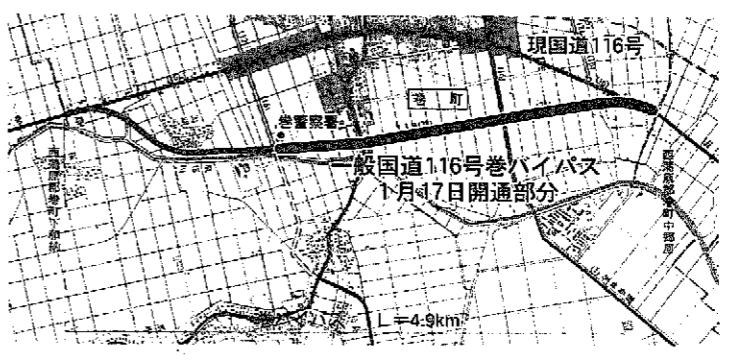
24時間受付・相談無料
電話健康相談室
 (0120)834-011
 医師・看護師等がお答えします。

相談の前に市町村コード番号を伝えてください。個人名を言う必要はありません。

市町村コード番号
 巻町 15345

一般国道116号巻ハイパス
(赤縮中郷間)が開通します

国が工事を進めている一般国道116号巻ハイパス(赤縮中郷間)約3.2kmが完了し、1月17日(月)の開通式終了後、通行可能となります。



問合せ 企画開発課 都市計画係
72-3131 (内線235)

赤ちゃんの健康のために
会場/保健センター
☎72-7100

1歳6か月児健診

対象 平成15年6月生まれの幼児
とき 1月18日(火) 午後1時20分集合
内容 内科健診、歯科健診、身体計測、保健師の問診、栄養指導
持ち物 母子手帳、お子さんが家でよく読んでいる絵本

ツベルクリン反応検査

結核感染の有無を知るための反応検査で、予防接種ではありません。
対象 生後3か月以上4歳未満の乳幼児
とき 1月19日(水) 午後1時30分集合～2時15分
持ち物 ツベルクリン反応検査予診票、母子手帳

BCG接種

ツベルクリン反応の結果、陰性のお子さんが結核予防のために受ける注射です。
対象 1月19日(水)にツベルクリン反応検査を受けた乳幼児
とき 1月21日(金) 午後1時30分集合～2時15分
持ち物 ツベルクリン反応検査時に渡される予診票、母子手帳

離乳食相談会

お子さんの離乳食について心配されているお母さん。栄養士、保健師が相談に応じます。
対象 平成16年7月生まれの乳児
とき 1月24日(月) 午後1時20分集合
内容 離乳食のすすめ方、身体計測
持ち物 母子手帳、バスタオル

2歳児歯科健診

対象 平成14年9月生まれの幼児
とき 1月27日(木) 午後1時20分集合
内容 歯科健診、歯磨き指導、身体計測、保健師の問診、栄養指導
持ち物 母子手帳、歯のアンケート

もうすぐお誕生ひろば

対象 平成16年2月生まれの乳児
とき 1月28日(金) 午前9時30分集合
内容 身体計測、保健師の相談、親子遊び、離乳食の指導
持ち物 母子手帳

3・4か月児健診

対象 平成16年9月生まれの乳児
とき 1月28日(金) 午後1時20分集合
内容 内科健診、股関節の脱臼検診、身体計測、保健師の問診、離乳食の指導
持ち物 母子手帳、バスタオル

1月 町民生活カレンダー
16日～31日 (☐=時間 ☒=会場)

16日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医 (14ページ参照)
17日	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日
18日	○文化会館・公民館休館日 ◆1歳6か月児健診 ☐午後1時20分集合 ☒保健センター
19日	●じよんのび館休館日 ●介護保険相談 ☐午前10時～午後5時 ☒ふれあい福祉センター ◆ツベルクリン反応検査 ☐午後1時30分～2時15分 ☒保健センター ◆献血(全血) ☐午前10時～正午 ☒ブルボン巻工場 ☐午後1時30分～3時30分 ☒町立巻病院
20日	★町立巻病院外来診療休診日 ●心配ごと相談 ☐午前10時～午後1時 ☒役場1階相談室 ◆ママのなんでも相談 (実習) ☐午後1時～2時15分 (来所相談) ☐午後2時30分～3時30分 ☒保健センター
21日	◆BCG接種 ☐午後1時30分～2時15分 ☒保健センター
22日	★役場閉庁 ★町立巻病院外来診療休診日
23日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医 (14ページ参照)
24日	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日 ◆離乳食相談会 ☐午後1時20分集合 ☒保健センター
25日	○文化会館・公民館休館日
26日	●介護保険相談 ☐午前10時～午後5時 ☒ふれあい福祉センター 住民課窓口 時間延長 (午後7時まで)
27日	★町立巻病院外来診療休診日 ●心配ごと相談 ☐午前10時～午後1時 ☒役場1階相談室 ◆2歳児歯科健診 ☐午後1時20分集合 ☒保健センター
28日	◆もうすぐお誕生ひろば ☐午前9時30分集合 ☒保健センター ◆3・4か月児健診 ☐午後1時20分集合 ☒保健センター
29日	★役場閉庁
30日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医 (14ページ参照)
31日	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日

2005年 農林業センサスのご協力をお願いします。

農林水産省では、平成17年2月1日現在で、全国の農家や林家をはじめとする、すべての農林業関係者を対象とした大規模な調査を行います。

5年に1度の調査で「農林業の国勢調査」と言われるほどの大切な調査です。日本の農林業に関する実態を明らかにし、農林業がかかえる問題点を解決するための重要な資料としての役割を果たします。

1月下旬ころ、調査員が伺いましたら、ご協力をお願いします。

実施日……平成17年2月1日
調査方法について……役場から農業集落ごとにお願ひして推薦して頂いた統計調査員が、調査対象となった方に、調査票を配布し、記入して頂く方法です。

調査の対象となる方……農林業を営む方で、その生産または作業に係る面積が一定規模以上の方です。
※秘密は、必ず守られます。

調査の内容は、所得などの申告者に利害を生じる目的に使用することや、この調査に従事する者が職務上知り得た調査内容を他に漏らす事は、法律(統計法)で固く禁じられていますので、安心してご記入ください。

問合せ……企画開発課 電算統計係 ☎72-3131 (内線231)



子育て支援センター

ころころ広場カレンダー(1月16日～31日)
☐どんぐりの舎 ☎72-6240

- 1月18日(火) ふれあい交流会 ☐午前10時30分～11時30分
- 19日(水) 親子遊びの会(音楽遊び) ☐午前10時30分～11時30分
- 20日(木) 英語を話そう! ママと一緒にレッツゴー動物園! ☐午前10時30分～11時30分
- 21日(金) 双子ちゃんようこそデー ☐午後1時30分～3時
- 22日(土) 親子チャレンジ「絵手紙教室」 ☐午前10時～正午
- 26日(水) 親子お誕生日会 ☐午前10時30分～11時30分
- 29日(土) ころころミュージック ☐午前10時～11時30分

「はたちの献血」

キャンペーン実施中

「はたち」の皆さんは、「献血」を知っていますか? 「献血」したことがありますか?皆さんの家族や友人など身近な人で、輸血をした方や血液製剤を使用した方がいますか?それらの医療に使われる血液は人工的に作ることはできません。すべて健康な皆さんの善意の「献血」で賄われています。皆さんの若さと善意で、是非「献血」にご理解とご協力をお願いします。

献血(全血) 1月19日(水)
(午前) 10時～正午 ブルボン巻工場
(午後) 1時30分～3時30分 町立巻病院

問合せ 高齢福祉保健課 健康づくり係
☎72-3131 (内線173)

